

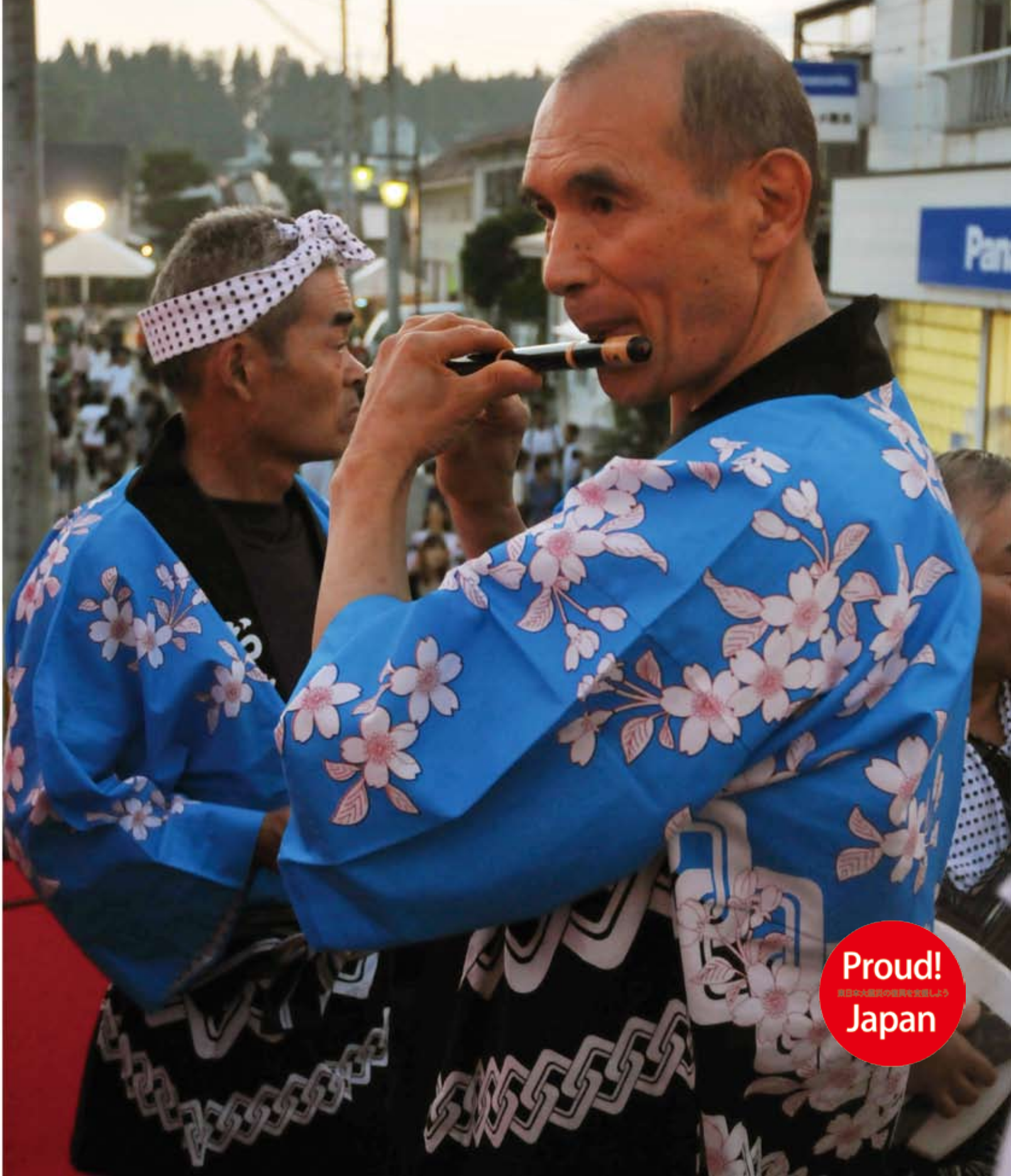
まちの応援マガジン いなわしろ

# 広報猪苗代

Aug.2013

8

No.634



Proud!

自国や自国民の優秀を賞賛しよう

Japan





04



03



02



01



08



07



06



05

01\_磐梯神社で御神火授与祭に臨む巫女と天狗 02\_磐梯神社でともされた御神火を、おまつり広場に移す前後町長 03\_やぐらの上で、はやしを演奏する参加者。軽やかなはやしの音色に、踊る人たちの気分も盛り上がる 04\_猪苗代高校の生徒会が町商工会青年部と協力しておまつり広場に出店。ノンアルコールカクテルなどを販売し、好評を博した 05\_磐梯山を彩った「山」の火文字 06.07.12\_おまつり広場のステージでは、太鼓の競演やバンド、よさこいなど、多彩な演奏や演技を繰り上げ、まつりを盛り上げた。本町出身のジョニー小椋さん(写真12左)が所属するバンド、ジョニーカンパニーは復興支援ソング「絆」を披露。アマ

チュアバンドの出演者や観客らと一緒に歌った 08.09.10\_子どもたちも大勢訪れ、まつりを満喫した。マジカルバルルーンZ(写真09)は、風船のパフォーマンスで子どもたちを熱狂させた 11\_会津磐梯山総おどりの最後には、参加者らが万歳三唱をしてまつりを締めくくった 13\_町内小学校の児童などが参加した音楽パレード。わが子の演奏を一目見ようと、沿道には大勢の保護者らが訪れた(写真は翁島小学校の児童ら) 14\_読経と焼香で犠牲者の冥福を祈った噴火殉難者供養祭(7月15日) 15\_総おどりでは、町内外から参加した約1,000人が、中央商店街に組まれたやぐらを囲み流し踊った

「火に託す二つの心『祈り』と『感謝』」をテーマに繰り広げられた今年のまつり。悪天候のため、27日の山車とみこしの競演やたいまつり行列などが中止となりましたが、好天に恵まれた28日は多くの人でにぎわいました。まつりの様子を写真で紹介します。

今年で65回目となる磐梯まつりは、7月27、28の両日、旧役場跡地・おまつり広場をメイン会場に開催されました。

猪苗代の夏の風物詩ともいえるこのまつりは、明治21年7月15日の磐梯山噴火で殉難した人々の追悼と供養を目的として始まったもので、五穀豊穡や町民の安寧を祈願する「火の祭り」として継承され、発展を遂げてきました。

## 第65回 磐梯まつり

# 火に託す「祈り」と「感謝」



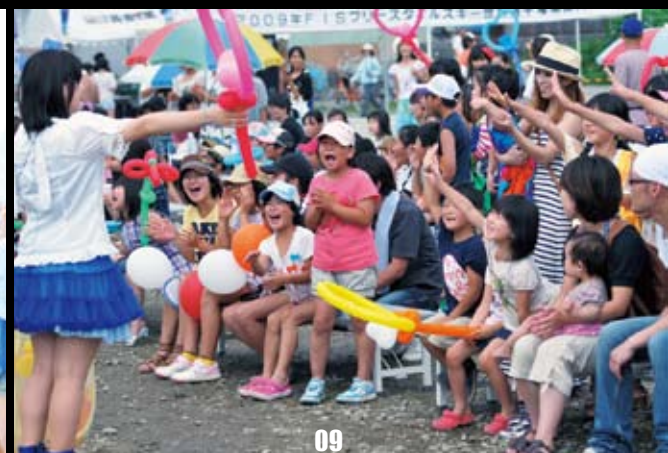
15



11



10



09



14



13



12





01\_ポンプ操法の見せ場の一つ、筒先員交代  
02\_ホースを担いで走る2番員。後方では出番を待つ選手らが見守る  
03\_吸管を伸ばす2、3番員



25年度県消防協会猪苗代支部消防操法大会は7月7日、町水防センター駐車場で開催されました。

猪苗代、磐梯両町の消防団が分団ごとにチームを編成して出場。消防ポンプ操作の正確性や放水までのタイムなどを競い合いました。

成績は次の通りです。

【ポンプ車操法の部】  
①5分団②6分団③4分団  
最優秀選手 ▼指揮者Ⅱ佐

## 県消防協会猪苗代支部 消防操法大会 Fire Fighting Spirits 2013

瀨暁(5分団) ▼1番員Ⅱ小  
椋祐輔(6分団) ▼2番員Ⅱ  
小熊義紀(同) ▼3番員Ⅱ高  
梨宏和(5分団) ▼4番員Ⅱ  
鈴木友博(同)

【小型ポンプ操法の部】  
①4分団②5分団③磐梯町消防団3分団  
最優秀選手 ▼指揮者Ⅱ土屋  
勝彦(4分団) ▼1番員Ⅱ大  
川原正章(同) ▼2番員Ⅱ本  
田健宏(5分団) ▼3番員Ⅱ  
渡部大介(1分団)



ポンプ車操法の部で優勝した第5分団



小型ポンプ操法の部を制した第4分団

## 2013 年 日本火山学会 秋季大会 公開講座

### 「火山防災シンポジウム」

日時：9月28日(土) 14:00～15:50  
場所：学びいな 大研修室  
※参加費無料、参加申し込みは不要です  
■2013年度秋季大会実行委員会  
E-mail: ynakamu787@gmail.com

### 「ジオパークシンポジウム」

日時：9月28日(土) 16:00～17:30  
場所：学びいな 大研修室  
※参加費無料、参加申し込みは不要です  
■磐梯山噴火記念館  
E-mail: master@bandaimuse.jp

## 日本火山学会 第20回 子ども向け公開講座

### 「火山の形 実験教室 姿を変える磐梯山」

日時：9月28日(土) 13:00～15:00  
場所：学びいな 調理研修室  
対象：小学校高学年から中学生まで(参加費無料、事前申し込みが必要です)  
申込方法：FAXまたはE-mail(氏名・生年月日・学校名・住所・電話番号・メールアドレス(あれば)を記入し、送信してください)  
内容：火山学者と一緒に実験し、火山のでき方や噴火について学びます。  
申し込み・問い合わせ先：磐梯山噴火記念館 FAX 0241(32)3281  
E-mail: master@bandaimuse.jp ☎ 0241(32)2888



※日本火山学会では、9月29日(日)から10月1日(火)まで、学会員による学術講演会を行います。その中の9月29日の午前中に行うジオパークのテーマについては、公開で行う予定です。詳しくは磐梯山噴火記念館にお問い合わせください。 ☎ 0241(32)2888



## Pick Up

今月のイベント

元日本代表が  
サッカーで  
笑顔をお届け

東日本大震災復興支援のサッカー教室「JFA・キリンスマイルフィールド」は7月2日、長瀬小学校で開かれました。

この事業は、岩手、宮城、福島、の被災3県の子どもたちに笑顔をお届けようと、日本サッカー協会とキリングループが協力して展開しているもの。サッカー日本代表経験者がコーチとなり、小学生を対象に教室を開いています。

この日は、元日本代表の小倉隆史さんが同校を訪問。小倉さんら5人のコーチが全校児童と触れ合い、サッカーの楽しさを伝えました。

児童たちは、鬼ごっこやリフティングの練習などをしてチームプレーの大切さやボールの蹴り方などを学んだ後、ミニゲームを行いました。コーチ陣にも挑戦したミニゲームでは、児童たちが運動靴を飛ばすほど思い切りボールを蹴るなどしてサッカーの楽しさを満喫しました。

小倉さんのユーモアあふれる指導で盛りあがったサッカー教室。同校には子どもたちの笑顔があふれ、元気な声が響き渡りました。

同教室は昨年9月に千里小、今年の6月には緑小で開催され、今後も翁島小、猪苗代小で開かれる予定です。

まちの応援マガジン いなわしろ

## 広報猪苗代

Jun.2013  
8  
No.634

### 今月の表紙



【撮影日】 7月28日  
【撮影場所】 磐梯まつり会場

磐梯まつりのフィナーレを盛大に飾った会津磐梯山総おどり。やぐらの上では、おはやし会の会員らが笛や太鼓、鐘を演奏し、軽やかな音色で踊り手の気分を盛り上げました。

## Contents — 【目次】

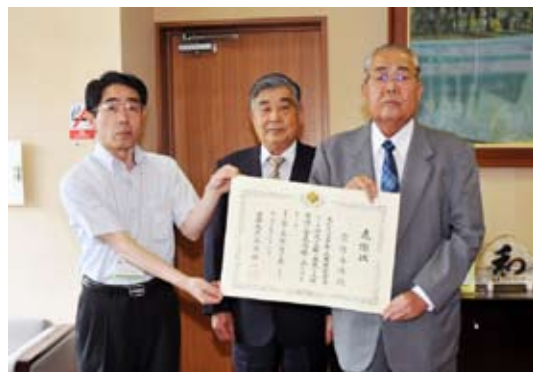
- 02 巻頭紹介 第65回磐梯まつり
- 04 Pick up
- 05 消防操法大会／日本火山学会秋季大会のお知らせ
- 06 まちのわだい
- 08 笑顔でこんにちは／まちのちょっといい話／スクールトピックスほか
- 10 いなわしろタウンページ
- 14 暮らしの情報広場
- 16 猪苗代湖ハーフマラソンのお知らせ／食生活改善推進員コーナー





## 宗像秀雄さんに大臣感謝状

人権擁護活動の功績をたたえる



中村支局長(左)から感謝状を受ける宗像さん(右)

人権擁護委員として3期9年にわたり活躍し、このたび退任した宗像秀雄さん(四ツ谷)に7月26日、法務大臣感謝状が贈られました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、中村吉光福島地方法務局若松支局長が宗像さんに感謝状を手渡し、長年にわたり人権擁護と人権思想の普及、高揚に尽力した功績をたたえました。

宗像さんは「世の中や人のために役に立つことができてよかった。自分なりに満足しています」と話しました。

7月1日には、町からも感謝状を贈呈しています。

## 教員の指導力向上のために

町教委が算数の授業研究会を開催



大野教諭(左)の授業を受ける児童

町教育委員会は7月2日、外部から講師を招き、猪苗代小学校で算数の授業研究会を開きました。教員の指導力向上のために実施したもので、町内外から約80人の教員が参観に訪れました。

東京の筑波大学附属小の大野桂教諭が、猪苗代小の4年生に掛け算の授業を実施。「相性占いをしよう」と大野教諭が黒板に書き、数を使った遊びから始めると、児童たちは生き生きと取り組み、掛け算の法則性を見つけ出しました。

大野教諭の巧みな授業展開で子どもたちが楽しそうに学ぶ姿に、参観した教員らは笑顔を見せていました。

## 民話や会津女性の話を披露

改善センターでいなわしろ民話まつり



瓜生岩子の話を披露した黒澤洋子さん

いなわしろ民話の会(鈴木清孝会長)が主催する第12回いなわしろ民話祭り「会津のおなご達の物語と郷土の民話を楽しもう」は7月15日、町農村環境改善センターで開かれ、約150人の来場者がほのぼのとした語りに聞き入りました。

会員約20人が出演し、「人の数をよむ花」「半坂の化けもの屋敷」などの民話のほか、NHK大河ドラマ「八重の桜」の放送を記念し、「ハンサムウーマン新島八重」「会津娘子隊・中野竹子」「日本のナイチンゲール・瓜生岩子」など会津の女性にまつわる話をかわるがわる披露し、集まった来場者を楽しませました。

## 犯罪のない明るいまちへ

「社会を明るくする運動」強調月間



J R猪苗代駅前啓発グッズを配る参加者

「社会を明るくする運動」強調月間の7月、町内では猪苗代地区の保護司会や更正保護女性会などの関係団体により、犯罪のない明るい社会を築くための活動が繰り広げられました。

1日早朝にはJ R猪苗代駅前啓発活動を実施。高校生が通学で電車を利用する時間に合わせて行われ、関係団体から参加した約40人がチラシやポケットティッシュなどの啓発グッズを配り、犯罪や非行防止を呼び掛けました。

17日には町内で広報活動を展開。広報車で犯罪のない社会づくりを呼び掛けたほか、事業所などを巡回し協力を求めました。

## 幻想的なひとときを体験

亀ヶ城公園でホタル観賞会



「いたー！」ホタルを見つける佐藤太亮さん

いなわしろにホタルを呼び戻そう会(小橋勝幸会長)が主催する「ホタル観賞会(平家ホタル編)」は7月15日、亀ヶ城公園で開かれ、親子連れなどが幻想的なひとときを体験しました。

参加者らは、学びいなかホタルの生態などについて説明を受けた後、公園にある川の近くへと移動。夜空に舞うホタルを眺めたり、つかまえて手のひらにのせたりして観察しました。

両親と共に参加した佐藤仁美さん、太亮さん、心咲さんは「とてもきれいだった」「オスとメスの見分け方がわかった」などと話していました。

## 過去最多の参加者が健脚競う

町民健康マラソン大会に493人



勢いよくスタートするリレーマラソンの参加者

25年度の町民健康マラソン大会は6月30日、町民運動公園で開かれ、参加者らが健脚を競いました。

今年は小・中学生を中心に過去最多の493人が参加。男女別、年齢別などの23部門を繰り広げ、青空の下、選手たちはゴールを目指して爽やかな汗を流しました。人気種目の親子競争やリレーマラソンには合わせて96組が参加。応援に駆け付けた家族などから盛んな声援が飛びました。

会場では、町食生活改善推進員らにより豚汁が振る舞われ、選手や応援に訪れた家族たちから好評を博しました。



# スクールトピックス



鈴木会長(左から5人目)から表彰状を受ける田母神さん(同6人目)



鈴木会長(左から5人目)から表彰状を受ける佐藤さん(同4人目)

## 自転車安全利用の功績称える

### 長瀬小と翁島小に表彰状を贈呈

猪苗代地区交通安全協会と猪苗代警察署は7月18日、交通安全活動に功績があったとして、長瀬小学校(江尻陽子校長)と翁島小学校(大堀昌弘校長)に表彰状を贈りました。

両校は、7月6日に二本松市で開かれた交通安全子供自転車県大会に出場。団体の部で長瀬小は2年連続の準優勝、翁島小も2年連続で3位に入ったほか、個人の部でも翁島小の佐藤柚衣さんが優勝、長瀬小の田母神幹太さんが3位となるなど、優秀な成績を収め、自転車の安全利用の意識啓発に功績があったとして表彰されたものです。

鈴木榮太郎同協会長と横田雄也同署長らが両校を訪問し、表彰状を手渡して功績をたたえました。

自己ベストの記録で個人の部を制した佐藤柚衣さんは「結果を聞いた時は驚いた。毎日の練習の成果を出すことができました」と話していました。

# 笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

愛くるしい笑顔で、周りのみんなを幸せな気持ちにする悠貴実ちゃん。パパは「人の心の痛みがわかる子になってほしい」、ママは「健やかにのびのびと育ってほしい」と話します。

## 石田 悠貴実 ちゃん

平成24年11月生まれ

～行津桜川

英樹さん・美月さん夫婦の長女

「生まれてきた時、健康で笑顔が素敵な女の子に育ってほしい」と思ってた」と話すママ、美月さんの願いどおり、いつもニコニコ、元氣いっぱい  
の悠貴実ちゃん。  
最近、つかまり立ちの練習に夢中。ハイハイも上手になり、この前、家に入ってきたカエルを追いかけて回っていたのだとか。「ばあちゃんがつかまえて渡すと、握り締めて喜んでいたら」とパパの英樹さんは笑います。  
お出掛けが大好きで、ベビーカーで近所を散歩すると、会う人みんなに愛嬌を振りまく悠貴実ちゃん。「今日もニコニコだねえ」と話し掛けられると、満面の笑みで返します。周りのみんなを幸せにするその笑顔で、悠貴実ちゃんのファンがどんどん増えています。  
※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。  
☎(62)2111

## まちのちよっといい話

### 登山で高校生に助けられ感謝

農業 板橋 隆則(福島県会津坂下町 66)

先日、山に登って大変うれしいことがあった。磐梯山に登り、頂上で一休みして下山を始めた。途中、リュックにくくりつけていたストックを、落としてしまったことに気づかず下山を続け、山小屋に着いて落としたことを知った。前日に買ったばかりのストックだった。

この日は高校の授業の一環で、多くの生徒が登山をしていた。近くにいた男子生徒に、途中でストックを見かけなかったか尋ねると、木に掛けてあったのを見たと言うではないか。私は降りてきた坂を登りはじめた。すると3人の男子生徒が「自分たちが取ってくるから、ここで休んでいて下さい」と言って、急な坂を駆け上がって行くではないか。私は驚き、感謝の気持ちでいっぱいになった。

30分ほどで生徒たちはストックを持ち帰ってきてくれた。私は何度もお礼したが、生徒たちは「困ったときはお互い様です」と言ってくれた。さわやかな学生さん。本当にありがとうございました。

左の記事は、朝日新聞の投稿欄「声(voice)」に掲載されたものです(6月14日、14面)。

この男性のストックを取りに行ったのは、猪苗代高校2年の古泉辰也さん、加藤彪さん、阿部大志さんの3人。学校行事で磐梯山に登り、下山途中で男性と会ったそうです。

人助けのため、再び弘法清水から山頂へ向かう急な坂を登った3人。後日話を伺うと「自分たちは当たり前のことをしただけです」と話していました。



左から阿部さん、加藤さん、古泉さん



猪苗代歌謡教室(渡部良一会長)が主催する「いなわしろ歌謡ステージ」は7月15日、学びいなかで開催され、観客が多彩なステージを満喫しました。「歌・踊・太鼓の競演」と銘打ち、同教室の会員などによる歌のほか、ハワイアン・フラ・パネキ、若柳流静舞会、花柳流みほ乃会の会員らによる踊りやいなわしろ天鏡太鼓による和太鼓の演奏なども披露され、会場に詰め掛けた約400人の観客を魅了しました。



優勝した猪苗代スポーツ少年団Aチーム

第16回猪苗代ライオンズカップジュニアサッカー大会は7月15日に開かれました。町運動公園で開催する予定でしたが、雨天のため猪苗代中学校体育館に会場を移し、フットサル競技に変更して実施しました。結果は次のとおりです。

①猪苗代スポーツ少年団A、②千里スポーツ少年団A、③吾妻スポーツ少年団  
最優秀選手賞 宮本皇介(猪苗代スポ少A)



## お知らせ

**まだ使える粗大ごみを  
無償で譲渡します**

本町では、7月より家庭から出された粗大ゴミでまだ使えるものを、希望する町民の方に無償で譲渡しています。

### ▼譲渡方法

旧衛生センターにおいて、無償譲渡物品受領書に必要事項（譲渡を受ける物・氏名・住所・電話番号など）を記入（自署）していただき、職員が確認した後、譲渡します。

受領の際は、本人確認のため免許証などの提示をお願いします。

### ▼譲渡日時

粗大ごみ受入最終日の翌日（土・日・祝日の場合はその次の平日）午前9時から午前11時30分まで

※ごみリサイクルカレンダーを確認の上、お越しください（粗大ごみ受入日当日の譲渡はしません）。

### ▼注意事項

①譲渡する物は現状のものとして  
②譲渡を受けた物は、最後まで自己責任で管理してください。

③父または母が政令で定める程度の障害の状態にある児童  
④父または母の生死が明らかでない児童

⑤その他（父または母が1年以上遺棄している児童、父または母が1年以上拘禁されている児童、母が婚姻によらないで懐胎した児童、児童の父または母が母または父の申し立てにより保護命令を受けた場合など）  
＊次のような場合、手当は支給されません。  
児童が

○父または母の死亡により公的年金または遺族補償を受けることができるとき  
○児童福祉施設などに入所したり、里親に預けられたとき  
○父母または養育者が  
○公的年金を受けることができるとき

○婚姻の届け出はしていなくても、事実上の婚姻関係（内縁関係など）があるとき

### ▼所得制限

受給資格者の前年の所得（課税台帳上の所得に、父、母または児童が受け取った養育費の8割を合算した額）が一定の額以上ある場合は、その年度（8月から翌年の7月まで）は、手当の全部または一部が支給停止されます。

また、扶養義務者（同居の直

③リサイクルショップなど、営利を目的とする方への譲渡はできません。

④自転車で防犯登録がされているものは、譲渡できません。

⑤電気製品は、火災の原因となる恐れがあるため、譲渡できません。

⑥譲渡日は粗大ごみの分別作業をしていますので、次の点にご留意ください。

・重機により作業することもあるので、十分注意すること。  
・分別・収集された物を他の場所へ移動させないこと。  
・作業の邪魔にならないよう職員の指示に従うこと。

### ▼問い合わせ先

町民生活課 環境係  
☎（62）2114

## 9月1日～10日は 屋外広告物適正化旬間

良好な景観の形成などを目的に屋外広告物に対する国民や企業の意識啓発などを推進するため、「屋外広告物適正化旬間」が定められています。

町内で屋外広告物を掲示および設置する場合には、福島県屋外広告物条例に基づく手続きが必要な場合があります。すでに掲示および設置されている人も含めて、今後検討する場合は、

系血族および兄弟姉妹）などの所得による所得制限もあります。所得制限限度額表を参考にしてください。

※なお、扶養親族の年齢により  
限度額が加算されます

扶養義務者の年齢	加算額
0～16歳未満	0
16～19歳未満	150,000
19～23歳未満	150,000
23～70歳未満	0
70歳～	100,000

所得制限限度額表 (単位：円)			
扶養親族などの数	人		扶養義務者の限度額
	全部支給	一部支給	
0人	190,000	1,920,000	2,360,000
1人	570,000	2,300,000	2,740,000
2人	950,000	2,680,000	3,120,000
3人	1,330,000	3,060,000	3,500,000
4人	1,710,000	3,440,000	3,880,000
5人	2,090,000	3,820,000	4,260,000

### ▼手当額（月額）は

監護・養育する子どもの数や受給資格者の所得などにより決められます。

○児童1人の場合  
全部支給 4万1430円

## 農地パトロールで農業委員が巡回します



農業委員会は農地の公的管理主体として、食料の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図るため、毎年、農地パトロールを実施し、遊休農地の実態把握・発生防止・解消、農地の違反転用発生防止対策などについて重点的に取り組んでいます。

パトロール当日は、公用車に「農地パトロール実施中」のマグネットを貼り、農業委員会の帽子と腕章を着用した地区担当農業委員と事務局職員が巡回します。本年度の農地パトロールの日程は下記のとおりです。

地区名	実施日	担当委員
猪苗代	8/19(月)	山本廣市・笹岡正人・金本久美子
翁島	8/19(月)	穴澤清和・鈴木秀康・穴澤進
月輪	8/21(水)、22(木)	長沼一夫・古川文和・佐藤睦弘・大川原けい子
長瀬	8/21(水)	武田利和・佐藤智昭・阿部幸喜
吾妻	8/26(月)、27(火)	渡部長昭・佐藤英一郎・鈴木輝夫・安達寿人

●問い合わせ先 農業委員会 農地係 ☎（62）5655

事前にご相談ください。

### ▼問い合わせ先

建設課 都市整備係  
☎（62）2118

## ひとり親家庭の生活を 支援する児童扶養手当

児童扶養手当は、ひとり親家庭の生活の安定と自立を助けるために支給される手当です。

一部支給 4万1420円  
9780円

○児童2人以上の加算額  
2人目 5000円、3人目以降1人につき 3000円

### ▼手当を受ける手続き

次の書類を添えて保健福祉課で手続きしてください。

①認定請求書  
②請求者と対象児童の戸籍謄本または抄本および世帯全員の住民票  
③その他必要な書類

所得制限限度額や必要な書類など、手続きに関する詳細については左記にお問い合わせください。

### ▼問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉係  
☎（62）2115  
または 県児童家庭課  
☎024（521）7176

## 公売

## 町の汎用コンバインを 公売します

町が所有する汎用コンバインを公売します。機種・規格および公売方法は次のとおりです。

### ▼公売機種・規格

普通型（汎用）コンバイン

### ▼支給対象者

次のいずれかに該当する児童を監護している父または母、もしくは父母に代わって子どもを養育している人

※児童の年齢は、18歳到達後の最初の3月31日を迎えるまで（中度以上の障害がある場合は20歳未満）

①父母が婚姻を解消した児童  
②父または母が死亡した児童

### ▼公売方法

現物を展示し、その後入札により最高入札額者と売買契約を締結します。代金入金確認後に受け渡しとなります。

### ▼展示期間・入札申込期間

8月19日（月）～8月23日（金）午前9時～午後4時

※入札参加を希望する方は必ず入札参加申込書を農林課へ提出してください。入札参加申込書、入札書は町役場農林課窓口および町ホームページで入手できます。町ホームページには写真掲載しています。

### ▼展示場所・時間

役場北側駐車場（旧猪苗代保育所跡地）  
午前9時～午後4時

### ▼入札日・入札場所

8月26日（月）午前10時  
役場2階 会議室

※時間厳守。郵送等不可

### ▼問い合わせ先

農林課 農業振興係  
☎（62）2116



## 議会

町の将来を決定する場  
議会を傍聴しませんか

議会の本会議は一般に公開されており、どなたでも傍聴することが出来ます。議場は役場3階です。傍聴する人は、傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名・年齢を記入し入場してください。なお、議事を妨害する恐れのある人は入場できないなど、傍聴の際には注意事項がありますので、職員の指示に従ってください。

▼開会予定日 9月2日(月)  
※一般質問は5日(木)、6日(金)の予定です。  
▼問い合わせ先  
議会事務局 議事係  
☎(62)5666

## 相談

高齢者・障害者の虐待、  
差別の相談に応じます

9月9日(月)から15日(日)までの7日間は、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」を実施します。

「強化週間です。身体的・心理的虐待、差別やいやがらせなど高齢者や障害者の抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談には人権擁護委員と法務局職員が応じます。」

▼時間 午前8時30分から午後7時まで(ただし14日・15日は午前10時から午後5時まで)  
▼相談電話 ☎0570(003)110

※強化週間以外の日も午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じています(土・日・祝日除く)

▼問い合わせ先  
福島地方法務局人権擁護課  
☎024(534)1994  
期間中は、町でも人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。相談は無料で秘密は厳守しますので、気軽に相談してください。  
▼開催日時 9月5日(木)  
午前10時から午後3時まで  
▼場所 町役場3階 日本間

行政相談委員に  
相談してみませんか

国、県、市町村などの役所やN.T.Tなどの特殊法人の仕事について、苦情、意見や要望を受けるのが行政相談です。定例相談は毎月1回、第3水曜日に開催します。

催しています。お気軽にご相談ください。

## ▼行政相談委員

宮澤重正さん(下館)  
☎(66)3995  
佐藤明さん(会津若松市)  
☎(29)6633

▼開催日時 8月21日(水)、9月18日(水)  
午後1時から3時まで

▼場所 町役場3階 日本間  
▼その他 相談無料・秘密厳守  
▼問い合わせ先  
総務課 秘書広報係  
☎(62)2111

新しい人権擁護委員に  
佐賀昭男さん

人権擁護委員に就任した佐賀昭男さん

法務省では、本町を担当する人権擁護委員を、25年7月1日付けで佐賀昭男さん(土町)に委任しました。人権擁護委員は、憲法で保障されている地域住民の基本的人権の擁護と、人権尊重思想の普及高揚を目的として活動しています。

## 掲示板

## 告示

・第68号「充当通知の公示送達について」(税務課収納係)  
・第69号「平成25年度固定資産税督促状の公示送達について」(税務課収納係)  
・第70号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納係)  
・第71号「公の施設に係る指定管理者の指定について」(商工観光課商工観光係)

## 公告

・第24号「猪苗代町農業振興地域整備計画変更に伴う公告について」(農林課農業振興係)  
・第25号「インターネット公売による不動産等の最高価申込者決定について(第2号)」(税務課収納係)  
・第26号「農用地利用集積計画の公告について(6月)」(農業委員会農地係)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

## ご意見ありがとうございます

町民意見箱「ご意見箱」に寄せられたご意見を紹介します。



## ●亀ヶ城を再建してほしい

## 【ご意見】

亀ヶ城跡に亀ヶ城を再建してほしい。

## 【回答】

亀ヶ城(猪苗代城)跡は、文禄・慶長期の石垣を持つ貴重な文化財であり、県指定史跡にもなっています。その再建にあたっては、根拠となる資料が不十分であることから、正確に復元することは困難であり、想像による城の再建は、正しい歴史認識の妨げとなります。同様のご意見は過去にもいただいておりますが、以上のことから、現段階での再建は難しいものと考えます。また、文化財保護の立場からは、できるだけ人の手を加えず、当時の状態を維持することが重要です。今後も現存する石垣や門跡などについては、後世へ確実に引き継ぐために維持・管理を続けてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

☎生涯学習課 生涯学習係 ☎(72)0180

## ●夏場の猪苗代スキー場の利用方法について

## 【ご意見】

猪苗代スキー場を夏場も子どもたちや観光客が集う場所にしてほしい。スキー場に花やハーブを植え、なだらかな蛇行の道を造り、車・プレーキ付きソリで観賞しながら坂を下りてくる。もちろん冬場のスキー場運営には支障がないように整備し、夏季の遊園地として入場料を取りながら維持したい。遊歩道も造る。

## 【回答】

夏場の猪苗代スキー場の利用方法については、これまでも幾度となく関係者と協議してまいりました。現在の経営者も当初、ゲレンデを花畑にし、官民挙げてオフシーズンの観光誘客を図るべく環境省と協議しましたが、国立公園地内であるため、在来種である山ゆり以外の植栽は認められないとのことで断念した経緯があります。また、道を作るのに必要な斜面の「切り土」や「盛り土」についても環境省の許可が必要であり、これまでもスキー場の施設整備のほかには登山道以外に許可されておられません。

しかし、国立公園における規制緩和が進んでいることから、夏季の花やハーブの植栽については、今後環境省と協議を進めてまいりたいと考えております。

☎商工観光課 商工観光係 ☎(62)2117

## ●じゃぶじゃぶ池そばでの物品販売について

## 【ご意見】

先日、亀ヶ城公園のじゃぶじゃぶ池の近くでチョコバナナを売っていた。子どもたちが楽しく遊んでいる所で物を売るのはどうかと思う。町は認めているのか。他の市や町の公園ではイベント以外は見かけない。

## 【回答】

公園内での物品の販売は、猪苗代町都市公園条例の規定によりイベント以外でも行うことが可能です。また、町はその都度販売業者に対し許可をしております。今後も利用者の皆さんなどのご意見をいただきながら、公園利用の改善に努めてまいります。

☎建設課 都市整備係 ☎(62)2118

## ●猪苗代湖に発電所を造ってほしい

## 【ご意見】

猪苗代湖の地下に水力発電所を造ってほしい。電力不足に備えられる上、売電して町を豊かにできる。サイホンの原理を利用し、発電時に排出した水は再度湖に戻す。遠隔操作で運転し、無人の発電所としたい。

## 【回答】

東日本大震災以降、本町では原子力に依存せず、二酸化炭素の排出量が少ない、太陽光発電、小水力発電、地熱発電などの持続可能な再生可能エネルギーの導入を推進しています。

このため、猪苗代湖の水を利用した水力発電につきましては、その趣旨が町の方針と合致するものです。しかし、ご意見の内容については高度の技術や事業規模、費用対効果、自然保護などの課題も多いと予想されますので、本町の豊かな資源を活用した再生可能エネルギーの推進に向け、研究させていただきます。

☎企画財務課 企画調整係 ☎(62)2112

## 【ご意見の記入にあたってのお願い】

「ご意見箱」の設置から約半年がたちました。この間、多くのご意見をお寄せいただきありがとうございます。

ご意見には記名を必要としないため、内容の趣旨がわからない、事実の確認ができないなどの理由で回答ができない場合もあります。お寄せいただいたすべてのご意見にお答えできるよう、ご意見は趣旨がわかるように、具体的に記入いただきますようお願いいたします。



猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故  
発生状況（平成 25 年 6 月 30 日現在）

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成 25 年	平成 24 年	増 減	増減率%
猪 苗 代 町		33	29	4	13.8
磐 梯 町		14	13	1	7.7
裏 磐 梯		6	8	-2	-25.0
計		53	50	3	6.0

町村別	猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
罪種別	25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年
窃盗犯計	28	19	13	7	5	6
空き巣	1			1		
金庫破り						
事務所荒らし	1					
出店荒らし			1			
倉庫荒らし	1					
侵入盗その他	1	2				
置き引き	3	2				
車上ねらい	2	2		1	1	2
部品ねらい						
脱衣場ねらい						1
自販機ねらい						
万引き	4	4				
職場ねらい				1		
さい銭盗		4				
畑荒らし						
スキー・スノーボード盗	6	2	10	2	3	2
非侵入盗その他	7	2	2	2	1	1
自動車盗						
オートバイ盗						
自転車盗	2	1				
その他の乗り物盗						
暴行・傷害	1	1		2		1
詐欺・横領		1	1			1
遺失物等横領	1			1		
器物損壊	3	6		2	1	
その他の刑法犯		2		1		
総 計	33	29	14	13	6	8
増 減		4		1		-2

2 交通事故状況

死亡事故	0	0	0	0	0	0
増 減		0		0		0
人身事故	42	50	11	7	3	1
増 減		-8		4		2

町の人口

25 年 7 月 1 日現在の現住人口	
人 口	15,261 人
世帯数	5,070 戸
出生 8 人	転入 27 人
死亡 11 人	転出 23 人

編集後記

▼8 ページの猪苗代生のは、町民の方に教えていただき、載せることができました。心温まるいい話などがあれば、情報をお寄せください。（矢森）

防 災

生命の危険を知らせる  
「特別警報」の運用開始

気象庁では、8 月 30 日から「特別警報」の運用を開始します。特別警報とは「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」のような数十年に一度あるかどうかの豪雨などが予測され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に、気象庁が最大限の危機感・切迫感を伝えるため発表するものです。特別警報の発表を知ったら、ただちに命を守るための行動をとってください。

なお、特別警報が発表されるまで安全というわけでは決してありません。警報が発表された段階でこれまで通り十分な警戒が必要です。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

気象庁 福島地方气象台 防災業務課 ☎ 024 (534) 0321

相 談

就職の悩みを抱える  
若者と家族をサポート

会津地域若者サポートステーションでは、仕事に就くことへの不安がある、人と話すのが苦手であるなどの理由で社会への第一歩を踏み出せ

ないでいる若者やそのことに関して心配している家族の相談に応じ、自立を支援しています。

●対象：15 歳から 39 歳までの人とその家族

●場所：ヨークベニマル一箕町店隣接テナント（会津若松市一箕町大字亀賀藤原 52）

●利用時間：午前 10 時～午後 7 時（日・祝日除く）

会津地域若者サポートステーション ☎ 0242 (32) 0011

Email：info@job-sapo.com

訪問歯科診療に関する  
相談に応じます

福島県在宅歯科医療連携室では、訪問歯科診療を行う歯科医院の紹介や質問・相談に応じています。

訪問歯科診療は、歯科医院への通院が困難な人のもとへ歯科医師や歯科衛生士が伺って、治療や口腔ケアを行うものです。

【訪問歯科診療を利用できる人】

①寝たきりなどにより通院が困難で、在宅での歯科治療を希望する人  
②病気やけがの治療・リハビリなどにより入院中の人

③介護施設などに入所中の人

※訪問歯科診療は医療保険が適用になり、通常の自己負担と同様の取り扱いです（ただし、「歯科訪問診療料」などの料金がかかります）。

福島県在宅歯科医療連携室（福島県歯科医師会内）☎ 024 (523) 3268

受付時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時（土・日・祝日除く）

イベント

天鏡閣と迎賓館で  
県民の日記念イベント

天鏡閣および福島県迎賓館において、8 月 17 日（土）、18 日（日）と 21 日（水）に福島県民の日記念イベ

町内医療機関 お盆期間中の診療予定

診療可：○ 休診：×

医療機関名	日にち 曜日	12 日 月	13 日 火	14 日 水	15 日 木	16 日 金	17 日 土	18 日 日
浅見クリニック	午前	○	○	×	×	×	×	○
	午後	○	○	×	×	×	×	○
小川医院	午前	○	○	×	×	×	○	○
	午後	○	×	×	×	×	○	○
かねこクリニック	午前	○	○	×	×	×	×	×
	午後	×	○	×	×	×	×	×
野崎医院	午前	○	×	×	×	×	○	×
	午後	○	×	×	×	×	×	×
マリアクリニック	午前	○	×	×	×	×	×	×
	午後	○	×	×	×	×	×	×
矢吹医院	午前	○	○	×	×	×	○	×
	午後	○	○	×	×	×	×	×
町立病院	午前	○	○	×	×	×	×	×
	午後	○	○	×	×	×	×	×

○会津若松市休日緊急医割当（8 月 18 日）

小児科 佐藤病院（西栄町 2-27）☎ (29) 2112

内科系 たてうまクリニック（館馬町 1-3）☎ (26) 3515

外科系 蛸谷整形外科医院（白虎町 66-8）☎ (24) 6511

○会津若松市夜間急病センター（山鹿町 1-22）☎ (28) 1199

受付時間 18：30 ～ 22：30（年中無休）

ントを開催します。迎賓館特別公開や和楽の演奏、夏のお茶席、虫さがし散策会、昔語り、赤ベコの絵付け体験、会津絵ろうそく絵付け体験、コケ玉作り&葉っぱスタンプ体験、県の特産品の販売会を行います。8 月 21 日（水）は天鏡閣を無料開放します。詳しくは天鏡閣までお問い合わせください。



ホームページにもイベント情報を掲載しています。

天鏡閣 ☎ (65) 2811

<http://www.tif.ne.jp/soumu/tenkyokaku>

落語一席とクラシック  
楽しいライブに無料招待

日本赤十字社福島県支部の復興支援事業「元気あっぷライブ」に 1,700 人を無料招待します。出演は、高嶋

ちさ子さんプロデュースの 12 人のバイオリニストと落語家の桂福丸さんです。落語一席とクラシック音楽をお楽しみください。

●日時：9 月 8 日（日）

午後 2 時～4 時

●会場：福島県文化センター（福島市春日町 5-54）

●応募方法：ハガキまたは FAX で①ライブ希望、②郵便番号・住所、③氏名（フリガナ）、④年齢、⑤電話番号、⑥希望人数（2 人まで）を明記し下記まで応募してください。

●応募締切：8 月 21 日（水）消印有効

※8 月 28 日に当選ハガキ（入場券兼用）を発送。応募者多数の場合は抽選。落選通知はありません。

●申し込み・問い合わせ先

〒960-1197 福島市永井川字北原

田 17 日本赤十字社福島県支部

☎ 024 (545) 7996

FAX 024 (545) 7923

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の  
メッセージは削除しました。ご了承ください。

善意をありがとうございます

○野口英世博士のふるさと猪苗代  
応援寄付金として

遠藤昭二さん（千葉県在住）  
10,000,000 円

○社会福祉事業協力金として  
華歌会（安部弘子代表）

50,000 円  
歌川重雄さん（会津若松市）  
15,000 円

●町県民税	第 2 期分
●国民健康保険税	第 2 期分
●介護保険料	第 2 期分
●後期高齢者医療保険料	第 2 期分
●下水道使用料	9 月分
●下水道負担金	第 2 期分



■一口メモ■ カレー粉を使って炒めた肉と旬の野菜を一緒に食べることで、ドレッシングは使わずに塩分控えめに食べることができます。